利用が20人あった。

7．学外者の利用

「京都大学附属図書館学外者利用内規」及び、共通閲覧証による近畿地区国公立大学間の相互利用の運用開始等、サービス範囲も広がり、また、理工学系外国雑誌センター、大型コレクション資料など、全国的な共同利用が原則の資料の増加に伴い、学外者の利用は増加の傾向にある。

利用者も本学卒業生から一般市民まで広範囲であり、特に最近は、国際化時代を迎え、留学生は勿論のこと、一般外国人研究者の利用も増加してきている。

年間利用数8,766冊（1,710人）、一日の平均閲覧数35冊（7人）で、一人当り平均5冊の利用であった。

学外者閲覧利用所属機関別内訳

区分		図書		貴重書		特殊資料		新聞		雑誌		参考図書		計		構成比	
		冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊%	人%
卒業生		797	193	97	1			286	57	674	208	52	32	1906	491	21.7	28.7
他大学	国立大学	649	133	128	14	2	1	201	19	778	183	12	8	1770	358	20.1	20.9
	公立大学	119	23	137	17	57	6	26	2	58	22	6	4	403	74	4.5	4.3
	私立大学	647	164	832	84	9	7	168	29	729	237	19	10	2404	531	27.4	31.0
その他	一般市民	223	20	62	7			72	12	113	28	5	3	475	70	5.4	4.0
	機関・研究所	859	65	564	30			112	10	146	41	25	8	1706	154	19.4	9.0
	外国人	18	7	16	16			53	4	13	3	2	2	102	32	1.2	1.9
計		3312	605	1836	169	68	14	918	133	2511	722	121	67	8766	1710	100.0	100.0

「新入生のための Library Guide 1989」の発行

新入生が最初にもっともよく利用する教養部図書館と附属図書館を紹介するために今年も小冊子“ライブラリーガイド”を発行し、各学部事務室（教務掛）を通じて新入生全員に配布しました。

京都大学には、教養部図書館、附属図書館のほかに、各学部・研究所等にも多数の図書館（室）があり、現在蔵書数は図書約470万冊、雑誌約5万8千タイトルを所蔵しています。

このライブラリーガイドでは、上記2つの図書館の利用方法をイラスト入りで説明するほか、全学の図書館（室）についても附録の配置図等で利用条件などがわかるようになっています。

この利用案内を参考にして、新入生の積極的な図書館利用を期待しています。

なお、教養部図書館・附属図書館の利用には、「図書館利用証」が必要ですので、まだの人は、附属図書館の受付（インフォメーションカウンター）で利用証（ライブラリーカード）の交付をうけてください。